

平成25年度 シンバネットワーク業績発表

拝啓

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

シンバホールディングス株式会社(代表取締役社長・CEO 安里享英)では、去る平成26年6月11日(水)、シンバネットワークの事業会社9社の定時株主総会を開催し、平成26年3月期決算を報告、承認されましたのでご案内致します。

<シンバネットワーク> (9社単純合計 増収増益)

売上高	135億7千6百万円 (前年比6.4%増)
営業利益	3億6千2百万円 (前年比11.9%減)
経常利益	2億5千8百万円 (前年比17.0%減)
純利益	1億9千9百万円 (前年比22.1%増)

【要因など】

お取引先様との更なる関係強化、新規お取引先様の事業展開、新規イベントの開催、消費税増税前の駆け込み需要などが挙げられます。また、組織内機能強化策として取り組むリクルート活動による優秀な人材の確保や、グループ内幹部研修の実施による人材育成・人間力強化が、社業の発展を強力に下支えしているものと考えております。

<主要事業会社：(株)あんしん(総合物流業)>

売上高	67億8千8百万円 (前年比10.4%増)
営業利益	2億1千8百万円 (前年比27.7%減)
経常利益	1億6千5百万円 (前年比31.6%減)

【要因など】

東京・大阪・福岡の営業活動が堅調に推移し、3営業所合算の売上高が27億4千万円(全売上高の40.3%)、営業利益が1億8千5百万円(全営業利益の84.9%)と、本土企業からの受託案件が全体の過半数に迫る勢いとなり、引き続き営業展開を強化してまいります。また、先島における新規受託案件を契機に、成長著しい石垣島への営業所新設を検討しており、今後も営業活動を注力してまいります。また、県内における配送、商品管理の面では、「安全=品質」を徹底的に強化し、高効率な物流サービスの提供を目指してまいります。一方、昨今の燃料費や人件費の高騰、昨年12月竣工した「あんしん港町物流センター」に係わる投資などにより、営業利益・経常利益はマイナスとなりました。

<主要事業会社：(株)宣伝(総合広告業)>

売上高	27億4千6百万円 (前年比1.3%増)
営業利益	5千6百万円 (前年比95.9%増)
経常利益	5千万円 (前年比83.1%増)

【要因など】

同業の(株)オー・シー・オーの売上高2億9千4百万円(前年比9.7%減)、営業利益6百4十万円(173.4%増)、経常利益6百3十万円(前年比177.1%増)を加えると、売上高が約30億4千万円、営業利益が6千2百万円、経常利益5千6百万円となる広告コミュニケーション・セグメントに成長することができました。要因としては、景気の回復とともに主要取引先の安定した広告・販売促進の継続案件の獲得に加え、新規イベントの実施、行政関係を含む新規事業の受託が挙げられ、前年度実績を上回る結果となりました。

自動車販売・整備を手掛ける(株)車輛館、国内利用航空運送事業の沖縄空輸(株)等も増収となり、飲食・小売の運営を主とする(株)ショップスも不採算店舗の整理等により黒字を確保するなど、平成25年度はシンバネットワーク全体として好業績を残す結果となりました。

今期は、消費税を含む税制面など経済環境の変化をしっかりと見据えつつ、お取引先様のニーズやシーズをしっかりとらえ、常に市場目線(マーケット・イン)でお取引先様へ各事業会社の機能・サービスを提供できるよう邁進してまいります。同時にビーチクリーン活動など既存の取り組みを継続しつつ、地域の皆さまとのコミュニケーションを通して、地域の皆さまから求められる企業となれるよう、社会的責任を果たしてまいり所存ですので、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご質問等は、以下の担当者までご連絡くださいますようお願いいたします。

敬具

シンバホールディングス(株) 社長室 友知 靖博 (ともち やすひろ) 電話 098-871-3100 Email tomochi-yasu@symba.jp
--